

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2016年4月8日から2020年2月19日まで	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時(原則として毎年4月12日及び10月12日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・ファンド 2016-04 (為替ヘッジあり／限定追加型) (愛称:ザ・大企業16-04)

第7期 運用報告書(全体版)

決算日 2019年10月15日

■投資者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・ファンド 2016-04 (為替ヘッジあり／限定追加型) (愛称:ザ・大企業16-04)」は、2019年10月15日に第7期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

〈お問い合わせ先〉

電話番号: 03-5156-5108

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 込 配 金 期 騰 落 中 率			債 組 入 比 率	純 資 産 額
		円	円	%		
3期(2017年10月12日)	10,535	30	1.8	93.9	1,691	
4期(2018年4月12日)	10,514	30	0.1	97.3	1,428	
5期(2018年10月12日)	10,444	30	△0.4	96.9	1,190	
6期(2019年4月12日)	10,417	30	0.0	96.9	1,010	
7期(2019年10月15日)	10,347	30	△0.4	93.8	960	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは、ドイツ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

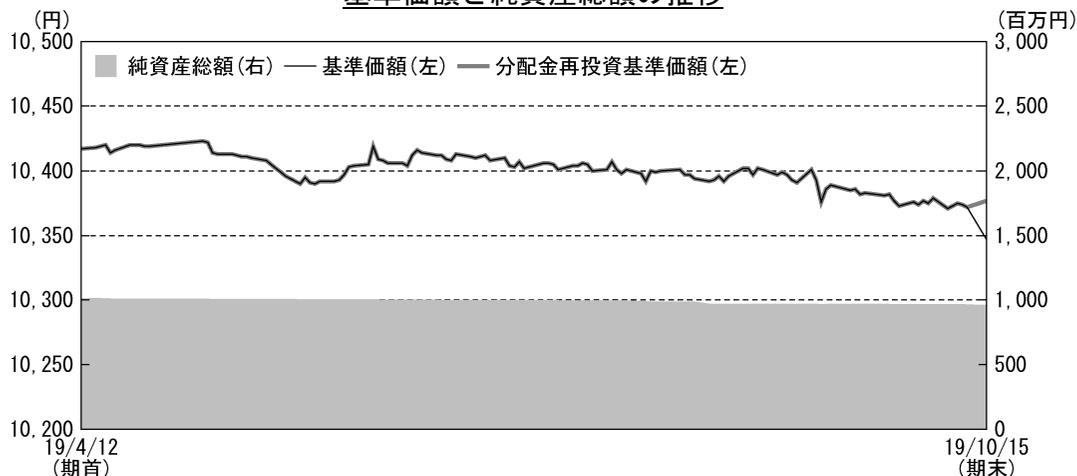
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	券 率
		円	%		
(期 首) 2019年4月12日	10,417	—	96.9		
4月末	10,419	0.0	95.0		
5月末	10,392	△0.2	94.6		
6月末	10,413	△0.0	97.2		
7月末	10,401	△0.2	95.7		
8月末	10,401	△0.2	92.6		
9月末	10,376	△0.4	95.9		
(期 末) 2019年10月15日	10,377	△0.4	93.8		

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

基準価額と純資産総額の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

◆基準価額

当ファンドの基準価額は期末において10,347円(分配落後)となり、分配金込みでは前期末比0.4%下落しました。当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。米中貿易摩擦の激化懸念や世界景気の不透明感が残存する中、主要中央銀行の緩和姿勢強化等を背景に、高利回り債券への旺盛な需要を受けて、ハイブリッド証券市場全体は上昇基調となりました。一方で、信託報酬等は基準価額にマイナスに影響しました。

◆投資環境

当期では、主要な指標となる米国やドイツの10年国債利回り(長期金利*)は低下しました(価格は上昇)。各国中央銀行がハト派的な政策姿勢を強める中、世界景気の減速基調が継続したことや、米中貿易摩擦の激化等が市場の変動要因となり、リスク回避的な動きの強まりを受けて、長期金利は低下しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場では、相対的に高い利回りに対する資金需要等を受けて、上昇基調となりました。為替市場では、米中貿易戦争や世界的な景気減速懸念に加えて、英国の欧州連合(EU)離脱問題等が市場の懸念材料として残存し、主要通貨に対して円買いが優勢となり、ユーロは対円で下落しました。

◆運用状況

(当ファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

(ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

当ファンドは、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券を対象に投資を行いました。期末時点のポートフォリオについては、通貨別ではユーロの配分を多めとし、国別では、イタリア、フランス、オランダ等の主要国への配分を高めとしました。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

◆収益分配金

基準価額水準等を勘案して、30円(税引前)といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第7期
	2019年4月13日～ 2019年10月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 0.289%
当期の収益	30
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	952

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針

(当ファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

(ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

米国では米連邦準備制度理事会(FRB)が緩和姿勢を継続していることや、景気減速リスクへの警戒感等から、金利は引き続き低位での推移が続くと予想されます。もっとも、9月の米連邦公開市場委員会(FOMC)においては追加緩和を巡り委員間の意見相違が明らかとなっており、今後の政策判断が注目されます。また、米中通商交渉の行方や、大統領の弾劾調査を巡る動き等の政治的不透明感も高まっていることにも影響を受ける可能性があります。欧州では、欧州中央銀行(ECB)による緩和的な金融政策は引き続き欧州債券市場を下支えるものと予想しています。また、英国のEU離脱に向けた動きや、ユーロ圏各国の財政・政治状況等は、今後も市場の変動要因になるものと思われ、緩やかな景気回復に伴う金利上昇の抑制要因になるものと考えています。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題への不透明感が同市場の重石になる可能性があります。一方で、低金利環境の継続が見込まれる中、ハイブリッド証券の相対的に高い利回りへの需要が続くと見られます。さらに、ECBが資産購入を決定したことも欧州社債市場全体にとってプラス材料と考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2019年4月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 74	% 0.716	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(38)	(0.363)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.335)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファン ドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.017)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	7	0.069	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.016)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用 ・ 印 刷 費 用 等)	(5)	(0.053)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や運用報告書の作成に 係る費用等
合 計	81	0.785	
期中の平均基準価額は、10,400円です。			

(注1) 期中において発生した費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

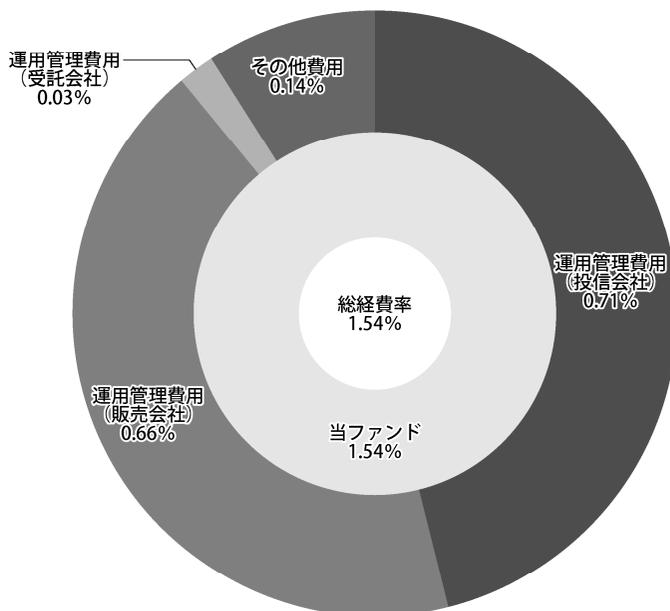
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.54%です。



(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年4月13日～2019年10月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ドイツ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド	千口 37,382	千円 40,824	千口 46,979	千円 51,331

(注)単位未満は切捨て。

○マザーファンドにおける主要な売買銘柄

(2019年4月13日～2019年10月15日)

●ドイツ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
EDPPL 4.125% 01/15/20(アメリカ)	130,772	ORAFP FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	136,586
MCD 6.375% 02/03/20(イギリス)	114,316	KHC 5.375% 02/10/20(アメリカ)	76,520
ENIIM 4.25% 02/03/20(ユーロ・イタリア)	111,594	BATSLN 6.375% 12/12/19(イギリス)	69,979
TELIAS 4.25% 02/18/20(ユーロ・その他)	88,349	VATFAL 6.125% 12/16/19(イギリス)	41,978
FDX 2.3% 02/01/20(アメリカ)	87,601	AKEFP FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	39,002
DT 2.225% 01/17/20(アメリカ)	85,937	MCD 6.375% 02/03/20(イギリス)	28,193
KHC 5.375% 02/10/20(アメリカ)	79,349	NGGLN FRN 06/18/76(ユーロ・その他)	24,438
GE 5.375% 01/23/20(ユーロ・アイルランド)	74,049	EDF FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	12,463
VW 2% 01/14/20(ユーロ・オランダ)	47,552	SEVFP FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	12,106
FIREIT 1.125% 01/02/20(ユーロ・イタリア)	47,410	BAYNGR FRN 07/01/75(ユーロ・ドイツ)	2,457

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年4月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、DEUTSCHE BANK AG、ドイツ証券です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年4月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年4月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年10月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
ドイツ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド	千口 909,285	千口 899,688	千円 980,300

(注)単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年10月15日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
ドイツ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド	千円 980,300	% 100.0
投資信託財産総額	980,300	100.0

(注1)評価額の単位未満は切捨て。

(注2)ドイツ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(1,860,645千円)の投資信託財産総額(1,870,600千円)に対する比率は99.5%です。

(注3)外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年10月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=108.42円、1ユーロ=119.53円、1英ポンド=136.63円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年10月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,937,194,193
<i>ディレク・グローバル・レポート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド</i> (附簿価)	980,300,946
未収入金	956,893,247
(B) 負債	977,069,632
未払金	963,764,695
未払収益分配金	2,783,701
未払解約金	3,034,358
未払信託報酬	6,982,567
その他未払費用	504,311
(C) 純資産総額(A－B)	960,124,561
元本	927,900,517
次期繰越損益金	32,224,044
(D) 受益権総口数	927,900,517口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,347円

〈注記事項〉

期首元本額	970,309,199円
期中追加設定元本額	596,687円
期中一部解約元本額	43,005,369円

○損益の状況 (2019年4月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 9
支払利息	△ 9
(B) 有価証券売買損益	3,681,143
売買益	62,450,790
売買損	△58,769,647
(C) 信託報酬等	△ 7,486,878
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,805,744
(E) 前期繰越損益金	37,575,395
(F) 追加信託差損益金	1,238,094
(配当等相当額)	(1,181,644)
(売買損益相当額)	(56,450)
(G) 計(D+E+F)	35,007,745
(H) 収益分配金	△ 2,783,701
次期繰越損益金(G+H)	32,224,044
追加信託差損益金	1,238,094
(配当等相当額)	(1,182,576)
(売買損益相当額)	(55,518)
分配準備積立金	87,225,472
繰越損益金	△56,239,522

(注1) (A) 配当等収益—支払利息にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(注2) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注3) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注4) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金の計算過程

(2019年4月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期
a. 配当等収益(費用控除後)	11,231,402円
b. 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
c. 信託約款に定める収益調整金	1,182,576
d. 信託約款に定める分配準備積立金	78,777,771
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	91,191,749
f. 分配対象収益(1万口当たり)	982
g. 分配金	2,783,701
h. 分配金(1万口当たり)	30

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	30円
-----------------	-----

(注1) 分配金をお支払いする場合

分配金のお支払いは、原則として決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

(注2) 分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、税引後みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

* 個人受益者が受取る普通分配金については、原則として20% (所得税15%、地方税5%) の税率で源泉徴収されます。(法人受益者の場合は税制が異なります。)

2014年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%) の税率が適用されます。

* 少額投資非課税制度「愛称：N I S A (ニーサ)」をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方となります。また、20歳未満の方を対象とした「ジュニアN I S A」をご利用の場合、毎年、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります(ただし、対象者が18歳になるまでは払出し制限があります。)。詳しくは、販売会社にお問合せ下さい。

* 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

* 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更されることがあります。

* 課税上の取扱いの詳細については、税務専門家または税務署にご確認下さい。

<お知らせ>

- ・当ファンドは、予定通り2020年2月19日をもちまして信託期間が満了し償還となる予定です。

ドイチェ・グローバル・コーポレート・ ハイブリッド・ボンド・マザーファンド

運用報告書

《第4期》

決算日：2019年10月15日

(計算期間：2018年10月13日～2019年10月15日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
(設定日)	円		%		百万円
2016年2月19日	10,000		—	—	2,615
1期(2016年10月12日)	9,713	△	2.9	96.2	5,451
2期(2017年10月12日)	11,812		21.6	92.5	3,281
3期(2018年10月12日)	11,680	△	1.1	96.6	2,314
4期(2019年10月15日)	10,896	△	6.7	91.9	1,870

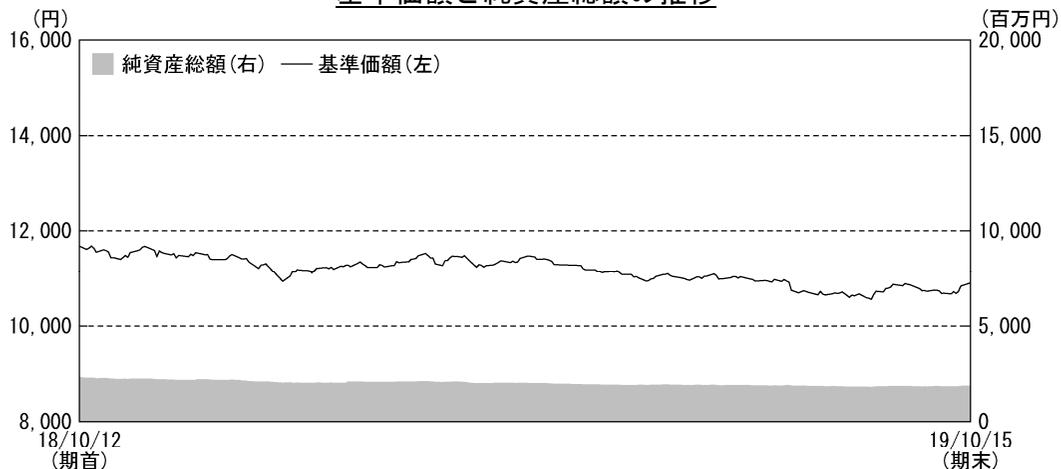
(注)当ファンドは、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	券 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2018年10月12日	11,680		—		96.6
10月末	11,484		△1.7		96.7
11月末	11,534		△1.3		95.2
12月末	11,309		△3.2		96.4
2019年1月末	11,280		△3.4		94.1
2月末	11,425		△2.2		96.7
3月末	11,272		△3.5		96.4
4月末	11,293		△3.3		94.5
5月末	10,999		△5.8		94.9
6月末	11,037		△5.5		97.4
7月末	10,936		△6.4		95.1
8月末	10,668		△8.7		94.3
9月末	10,748		△8.0		95.8
(期 末)					
2019年10月15日	10,896		△6.7		91.9

(注)騰落率は期首比です。

基準価額と純資産総額の推移



◆基準価額

当ファンドの基準価額は期末において10,896円となり、前期末比6.7%下落しました。

当ファンドは、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。米中貿易摩擦の激化懸念や世界景気の不透明感が残存する中、主要中央銀行の緩和姿勢強化等を背景に、高利回り債券への旺盛な需要を受けて、ハイブリッド証券市場全体は上昇基調となりました。一方で、市場のリスク回避的な動きの広がりを受けて、主要国通貨が円高傾向となったことは基準価額にマイナスに影響しました。

◆投資環境

当期では、主要な指標となる米国やドイツの10年国債利回り(長期金利*)は低下しました(価格は上昇)。各国中央銀行がハト派的な政策姿勢を強める中、世界景気の減速基調が継続したことや、米中貿易摩擦の激化等が市場の変動要因となり、リスク回避的な動きの強まりを受けて、長期金利は低下しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場では、相対的に高い利回りに対する資金需要等を受けて、上昇基調となりました。為替市場では、米中貿易戦争や世界的な景気減速懸念に加えて、英国の欧州連合(EU)離脱問題等が市場の懸念材料として残存し、主要通貨に対して円買いが優勢となり、ユーロは対円で下落しました。

◆運用状況

当ファンドでは当初の運用方針通り、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

期末時点のポートフォリオについては、通貨別ではユーロの配分を多めとし、国別では、イタリア、フランス、オランダ等の主要国への配分を高めとしました。

◆今後の運用方針

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

米国では米連邦準備制度理事会(FRB)が緩和姿勢を継続していることや、景気減速リスクへの警戒感等から、金利は引き続き低位での推移が続くと予想されます。もっとも、9月の米連邦公開市場委員会(FOMC)においては追加緩和を巡り委員間の意見相違が明らかとなっており、今後の政策判断が注目されます。また、米中通商交渉の行方や、大統領の弾劾調査を巡る動き等の政治的不透明感も高まっていることにも影響を受ける可能性があります。欧州では、欧州中央銀行(ECB)による緩和的な金融政策は引き続き欧州債券市場を下支えるものと予想しています。また、英国のEU離脱に向けた動きや、ユーロ圏各国の財政・政治状況等は、今後も市場の変動要因になるものと思われ、緩やかな景気回復に伴う金利上昇の抑制要因になるものと考えています。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題への不透明感が同市場の重石になる可能性があります。一方で、低金利環境の継続が見込まれる中、ハイブリッド証券の相対的に高い利回りへの需要が続くと見られます。さらに、ECBが資産購入を決定したことも欧州社債市場全体にとってプラス材料と考えています。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 4	% 0.040	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.035)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.005)	証券投資信託管理事務等に係る費用
合 計	4	0.040	
期中の平均基準価額は、11,165円です。			

(注1) 期中において発生した費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) (a) その他費用(その他)にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

○ 売買及び取引の状況

(2018年10月13日～2019年10月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千米ドル 4,919	千米ドル 709 (800)
			ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	社債券	—	20
	イタリア	社債券	1,424	103
	フランス	社債券	815	1,827 (2,207)
	オランダ	社債券	708	710 (2,100)
	アイルランド	社債券	1,036	— (500)
	その他	社債券	926	517 (2,100)
	イギリス	社債券	千英ポンド 1,658	千英ポンド 1,026 (900)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

○主要な売買銘柄

(2018年10月13日～2019年10月15日)

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
EDPPL 4.125% 01/15/20(アメリカ)	130,772	ORAFP FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	136,586
GE 5.375% 01/23/20(ユーロ・アイルランド)	126,803	ANNGR FRN 04/08/74(ユーロ・オランダ)	77,166
MCD 6.375% 02/03/20(イギリス)	114,316	KHC 5.375% 02/10/20(アメリカ)	76,520
ENIIM 4.25% 02/03/20(ユーロ・イタリア)	111,594	BATSLN 6.375% 12/12/19(イギリス)	69,979
TELIAS 4.25% 02/18/20(ユーロ・その他)	88,349	VATFAL 6.125% 12/16/19(イギリス)	41,978
F 2.681% 01/09/20(アメリカ)	88,227	AKEFP FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	39,002
FDX 2.3% 02/01/20(アメリカ)	87,601	MCD 6.375% 02/03/20(イギリス)	28,193
DT 2.225% 01/17/20(アメリカ)	85,937	VLVY FRN 06/10/75(ユーロ・その他)	26,938
KHC 5.375% 02/10/20(アメリカ)	79,349	EDF FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	25,931
BATSLN 6.375% 12/12/19(イギリス)	75,101	NGGLN FRN 06/18/76(ユーロ・その他)	24,438

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月13日～2019年10月15日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	$\frac{B}{A}$ %		百万円	$\frac{D}{C}$ %
公社債	百万円 1,372	百万円 13	% 0.9	百万円 613	百万円 13	% 2.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、DEUTSCHE BANK AG、ドイツ証券です。

○組入資産の明細

(2019年10月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	3,400	3,405	369,183	19.7	—	—	—	19.7
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	580	586	70,096	3.7	—	3.7	—	—
イタリア	3,400	3,434	410,485	21.9	—	9.1	—	12.9
フランス	2,240	2,265	270,806	14.5	—	14.5	—	—
オランダ	600	603	72,141	3.9	—	—	—	3.9
ベルギー	400	400	47,907	2.6	—	2.6	—	—
アイルランド	1,000	1,013	121,155	6.5	—	—	—	6.5
その他	1,200	1,215	145,322	7.8	—	1.3	—	6.5
イギリス	千英ポンド 1,500	千英ポンド 1,543	210,906	11.3	0.8	6.8	—	4.4
合 計	—	—	1,718,005	91.9	0.8	38.0	—	53.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	普通社債券	DT 2.225% 01/17/20	2.225	800	799	86,718	2020/1/17
		EDPPL 4.125% 01/15/20	4.125	1,200	1,204	130,560	2020/1/15
		F 2.681% 01/09/20	2.681	800	800	86,744	2020/1/9
		GM 3.15% 01/15/20	3.15	600	600	65,159	2020/1/15
小	計					369,183	
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
ドイツ	普通社債券	BAYNGR FRN 07/01/75	3.0	580	586	70,096	2075/7/1
イタリア	普通社債券	ENELIM FRN 01/15/75	5.0	1,400	1,417	169,408	2075/1/15
		ENIIM 4.25% 02/03/20	4.25	900	913	109,212	2020/2/3
		FIREIT 1.125% 01/02/20	1.125	1,100	1,103	131,864	2020/1/2
フランス	普通社債券	AKEFP FRN PERPETUAL	4.75	100	104	12,477	—
		EDF FRN PERPETUAL	4.25	1,400	1,412	168,881	—
		ORAFP FRN PERPETUAL	4.25	740	748	89,447	—
オランダ	普通社債券	VW 2% 01/14/20	2.0	600	603	72,141	2020/1/14
ベルギー	普通社債券	KBCBB FRN 11/25/24	2.375	400	400	47,907	2024/11/25
アイルランド	普通社債券	GE 5.375% 01/23/20	5.375	1,000	1,013	121,155	2020/1/23
その他	普通社債券	ABBV 0.375% 11/18/19	0.375	200	199	23,872	2019/11/18
		IMBLN 5% 12/02/19	5.0	100	100	12,032	2019/12/2
		TELIAS 4.25% 02/18/20	4.25	700	710	84,938	2020/2/18
		VLVY FRN 06/10/75	4.2	200	204	24,479	2075/6/10
小	計					1,137,915	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	普通社債券	AMXLM FRN 09/06/73	6.375	800	829	113,304	2073/9/6
		MCD 6.375% 02/03/20	6.375	600	609	83,211	2020/2/3
		TELEFO FRN PERPETUAL	6.75	100	105	14,390	—
小	計					210,906	
合	計					1,718,005	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年10月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,718,005	% 91.8
コール・ローン等、その他	152,595	8.2
投資信託財産総額	1,870,600	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建純資産(1,860,645千円)の投資信託財産総額(1,870,600千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年10月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=108.42円、1ユーロ=119.53円、1英ポンド=136.63円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年10月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,894,126,956
コール・ローン等	65,314,472
公社債(評価額)	1,718,005,548
未収入金	72,280,706
未収利息	29,133,039
前払費用	9,393,191
(B) 負債	23,814,288
未払金	23,814,261
未払利息	27
(C) 純資産総額(A-B)	1,870,312,668
元本	1,716,562,974
次期繰越損益金	153,749,694
(D) 受益権総口数	1,716,562,974口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,896円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,981,727,231円
 期中追加設定元本額 162,947,287円
 期中一部解約元本額 428,111,544円
- ②当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・
 ファンド 2016-02 (為替ヘッジあり/限定追加型) 816,874,146円
 ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・
 ファンド 2016-04 (為替ヘッジあり/限定追加型) 899,688,828円

○損益の状況 (2018年10月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	76,396,034
受取利息	76,406,034
支払利息	△ 10,000
(B) 有価証券売買損益	△220,654,324
売買益	694,131
売買損	△221,348,455
(C) 保管費用等	△ 798,301
(D) 当期損益金(A+B+C)	△145,056,591
(E) 前期繰越損益金	333,021,543
(F) 追加信託差損益金	19,200,744
(G) 解約差損益金	△ 53,416,002
(H) 計(D+E+F+G)	153,749,694
次期繰越損益金(H)	153,749,694

- (注1) (A) 配当等収益－支払利息にはマイナス金利に係る費用等を含みます。
 (注2) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

- ・該当事項はございません。